

〔平 26 . 4 . 4  
際 D 3 - 2〕

# 税制調査会（国際課税 D G ③）

〔国境を越えた役務提供の市場規模の試算〕

平成 26 年 4 月 4 日（金）

経済産業省

商務情報政策局 情報経済課

# 0. 市場規模の推計の考え方

## (1) 今回推計を行った分野

- ・近年、市場が拡大していると言われている以下の分野について行った。

①インターネット広告、②クラウドサービス、③電子書籍

## (2) 推計の内容

- ・それぞれの分野における市場規模について、以下の定義で推計を行った。

「国内市場」・・・日本国内の需要家が消費している役務の規模

「越境取引」・・・国内市場のうち、海外から提供されているもの  
(いわゆる非課税取引に該当する)

## (※) 留意事項

- ・国境を越えた役務提供に関する政府の統計等は、必ずしも存在しないため、民間企業の公表資料等を参考に推計を行った。
- ・為替レートは、使用したデータの当時のレートとして、80円／1ドルで計算を行った。

# 1. 国境を越えた役務提供の市場規模

	国内市場	そのうち越境取引
インターネット広告 (2012年)	6,600億円	<b>3,900億円</b>
クラウドサービス (2011年)	1兆2,000億円	<b>2,300億円</b>
電子書籍 (2012年)	730億円	<b>350億円</b>

## 2. インターネット広告

### (1) 国内市場

- ・株式会社電通が公表している資料によると、約6,600億円(2012年)。

### (2) 越境取引

- ・外資系企業の大手と言われるA社、B社、C社による越境取引を試算。
- ・その合計金額は、約3,900億円(2012年)。

#### A社

- ・米国向けの広告売上高は200億ドルと開示されている。
- ・広告売上高は、サービスの利用者数に比例すると仮定し、日米におけるA社のサービスの利用者数の比較により、日本に対する越境取引の規模を推計。

#### B社

- ・広告配信以外の取引も含め、世界での売上高は610億ドル、日本での売上高が78億ドルと開示されている。
- ・米民間シンクタンクの試算によると、B社の世界でのインターネット広告売上高は、約6億ドル。
- ・世界全体の売上げに占めるインターネット広告売上高の割合を、日本にも適用し、越境取引の規模を推計。

#### C社

- ・北米(アメリカ、カナダ)、アジアなどの地域単位において、広告売上高が開示されている。
- ・A社と同様、北米と日本におけるC社のサービスの利用者数の比較により、日本向け越境取引の規模を推計。

# 3. クラウドサービス

## (1) 国内市場

- ・平成22年に総務省が主催した「スマート・クラウド研究会」の報告書では、国内のクラウドサービスの国内市場の規模を、以下のとおり定義し、試算している。

$$\begin{array}{c} \text{国内事業者のソフトウェア、情報処理サービス等関連市場規模} \\ \times \\ \text{企業のクラウドサービスの利用率} \end{array}$$

- ・市場規模の試算方法を参考に、2011年の国内のクラウドサービスの市場規模を推計したところ、約9700億円(2011年)。ただし、本方法では、海外企業からの越境取引は含まれない。
- ・民間シンクタンクの調査による、クラウド分野における外資系企業のシェアを考慮し、越境取引の規模を2,300億円を試算。
- ・これを上記に加算し、国内市場は、約1兆2000億円(2011年)と推計。

## (2) 越境取引

- ・上記のとおり、越境取引は、約2,300億円(2011年)と推計される。

# 4. 電子書籍

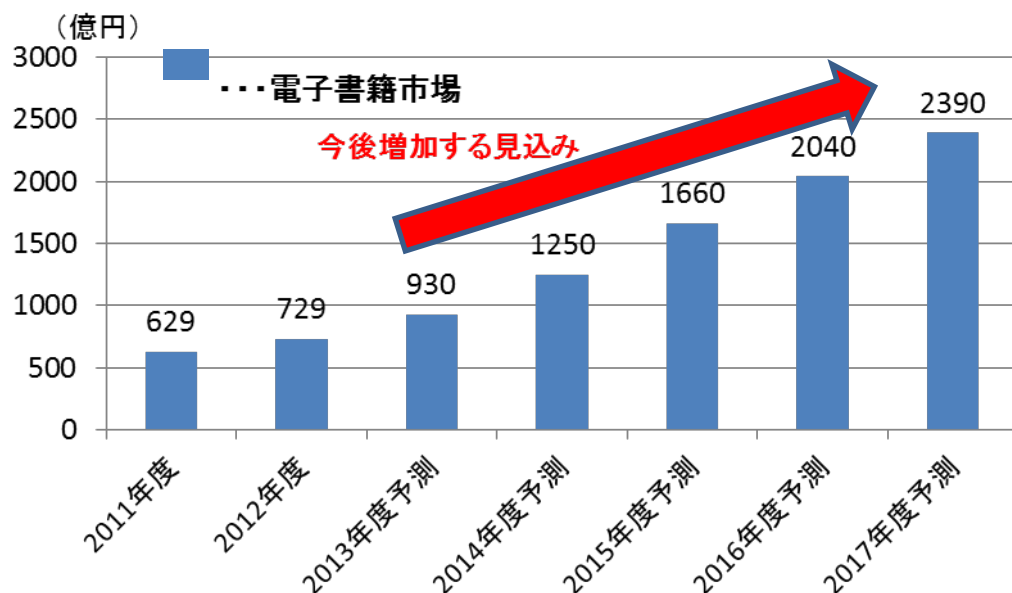
## (1) 国内市場

- ・株式会社インプレスビジネスメディアが公表している資料によると、約730億円(2012年)。

## (2) 越境取引

- ・このうち海外企業が占める割合については、電子書籍ストアにおける、利用率にしめる海外企業の割合から推計すると、約350億円。

電子書籍市場規模の推移(2013年度以降は予測)



出典：インプレスビジネスメディア「電子書籍ビジネス調査報告書2013」  
より経済産業省作成

電子書籍ストアの利用状況(2013年4月調査)

店舗名	利用率	推計利用率*
Kindleストア	49.4%	39.3%
Apple iBookStore	15.8%	12.6%
紀伊國屋書店Kinoppy	14.7%	11.7%
Reader Store	9.6%	7.6%
楽天kobo	7.6%	6.0%
BookLive!	7.3%	5.8%
BOOK☆WALKER	6.7%	5.3%
eBookJapan	6.5%	5.2%
Honto	5.1%	4.1%
Google Play Books	3.1%	2.5%

※ 本利用調査は、複数回答ありの調査であり、利用率の総和が100%とならないため、各ストアの延べ利用者数を全体の延べ回答者数で除算した割合を推定利用率とした。

出典：インプレスR&D「電子ストア利用動向調査」(2013年4月版)  
より経済産業省作成